

あら、こんなところにも県大生

卒業生（生活環境 33 回生・S60 卒） 蔵野 裕美

我々 33 回生は、白亜の校舎がまぶしい月出キャンパスへ移転して、2 年目の学生です。文家政学部が文学部・生活科学部の 2 学部 5 学科体制となり、1 学年 200 余名でした。我が生活環境学科は、3 年生で被服コースと住居コースに分かれそれぞれ 6 つの研究室に所属していました。

矢上研で光退色の実験に明け暮れていたあの頃の充実した日々が懐かしく思い出されます。

現在は県立劇場で行われている入学式・卒業式も、当時は中ホールで行われ、卒業生は全員角帽・ガウン姿で列席していました。

H 22 年、部活の先輩方とのつながりもあり、図らずも環境学科の友人と二人で運営委員になりました。親睦会の担当学年となり、各学科の正副代表委員との会合を重ね、運営委員の方々と事務局のご協力のもと H 23 年度の親睦会は盛会のうちに終えることができました。

33 回生からは県外組 25 名を含め 67 名も参加表明をいただき、担当者としては何よりもうれしいことでした。久々の再会に心弾み、親睦会中のハプニングも皆の力で乗り越えられ、仲間のありがたさを実感しました。その後の山鹿への紫苑会親睦旅行や白亜祭の紫苑会ブースの準備や当日も、学生時代にかえったかのように皆で和やかに楽しみながら行いました。

娘も総合管理学部に入学し飯村研にお世話になりました。3 年時のグループ研究では県内観光事業発展を目的とした音・映像配信に関する研究〔KumaScape（くますけーぷ）〕で阿蘇地域を対象として行い、もやいすとスーパーの認定を受けました。

先日、熊本県公安委員会主催の安全運転管理者講習会に参加した際、～おしえて！くまモン！思いやりの交通安全～という講習用のムービーが流れました。最後の字幕で熊本県警と一緒に飯村研のムービー制作部「彩」が制作したものだとなりました。後輩の活躍ぶりを目の当たりにしてうれしくもあり、また誇らしくもありました。

このように県大生が地域社会に根付き、ますます活躍してくれることを期待しています。

創立 70 周年によせて

卒業生（食物 43 回生・H7 卒） 友寄 博子
環境共生学部准教授

創立 70 周年おめでとうございます。私は入学したときには女子大でしたが、卒業する年に共学となったため、県立大学となって初めての卒業生となります。入学当初は女子学生だけのキャンパスに驚くことが多く、男女共学の他大学と比べると異なる点を多く感じました。しかし、今では女子だけならでの居心地の良さに楽しく学生生活を送ることができたと思えます。特に、体育祭や白亜祭では全学一丸となって盛り上げる中で、先輩や後輩と交流ができました。また、男性がいなかったためか、他大学のサークルとの連携も活発に行われており、様々な活動に参加し、良い経験を積ませてもらいました。

現在私が所属している食健康科学科は男子学生がいない学年もあり、学科単位の講義では今でも女子大の雰囲気を残しています。しかし、大学全体で見れば随分と雰囲気も変わってしまったため少し寂しく思います。ただ、その頃とはまた違った形で活気があり、現在でも女子大時代から続く伝統や歴史を守りながら様々な活動が行われていると感じています。

私が学生時代にも先生方は大変お忙しく、今私がおその役割を果たすことができているか自問自答の毎日です。そのお忙しい中、ご指導いただいた先生方に社会の厳しさや人とのかかわり方などたくさんのおことを教えて頂きました。その教えのおかげで社会への出口である大学で、社会へ出る心づもりができたように思います。しかし、社会情勢や求められる能力の質もレベルも日々変化する中で、即戦力が要求される社会へと送り出す側に立った時、どの程度学生に身に着けさせることができているか、と考えますが、大学での学びや経験が学生にとって大きな財産となるよう今後も努めていきたいと思ひます。

現在母校で教育や研究に携わりながら後進の育成に関わることができ、日々精進するとともに身が引き締まる思いで過ごしております。今後とも母校の益々の発展に貢献して参りたいと存じます。合わせまして皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

創立70周年記念メッセージ

卒業生（総合管理49回生・H13卒） 今別府 隆宏

私が入学する数年前に熊本女子大学が男女共学となり、熊本県立大学となりました。入部したサークルの先輩は全て女性で、新入生8名の中でも男性は3名。しかし、特に違和感なくサークル活動を続けられたのは、女子大の校風としての寛容さが故だったと感じています。

そうした肌感覚からか、女性の先輩しかいない同窓会活動に携わることになったときも違和感はありませんでした。しかし、初めから積極的に参加したいと望んだわけではありません。卒業アルバムの代金と間違えて同窓会総会の参加費を振り込んでしまい、当時の同窓会長から「ありがとう！必ず来てね」と電話連絡をもらって間違いに気づいたものの、怖いもの見たさのような興味から総会に出席し、歓待を受けた末に運営委員を引き受けてしまい……。副会長としての4年の任期を含む15年間、縁あって同窓会「紫苑会」の運営に関わらせて頂きました。

同窓会初の男性委員であった私が、同窓会にどう貢献できたのかはさておき、先輩方の経験に教わり、私自身に経験の場を与えて頂き、同窓会組織に育てて頂いたと実感しています。私にとってそうだったように、同窓会は、同窓生にとって、大学にとって、大学生にとっても活用すべき人的資産です。ただ、SNSが社会インフラとなり、個人間で容易に同窓生相互の交流ができるようになった今、世代間の交流や学生との交流の場づくりなどSNSとは違った魅力や活用方策を同窓会が提示していく必要があるでしょう。

現同窓会でも、多くの若手メンバーが運営に参画し、新たな学生との交流事業などに積極的に取り組んでいます。累々と積み重なった人的資産が遊休資産とならないよう、同窓会内部にとどまらず、先生方や大学事務局からも様々なアイデアを頂き、古希を迎えた大学ならではの同窓会として、独自性と新規性を兼ね備えた活動をご期待申し上げるとともに、私個人としても微力ながら貢献していきたいと考えています。

創立 70 周年の記念メッセージ

卒業生（総合管理 50 回生・H14 卒） 井寺 美穂
総合管理学部准教授 (旧姓：川瀬)

熊本県立大学がこのたび創立 70 周年を迎えられることに、心よりお祝い申し上げます。卒業生のひとりとして、また本学職員のひとりとして、ここに記念のメッセージを贈らせていただく機会を得ましたことを誠に光栄に存じます。

私は、平成 14 年 3 月に本学総合管理学部を卒業しました。総合管理学部の学生であれば誰でも向き合うことになる難題があります。それは「外部の方々に“総合管理学部”とはどのような学部であるのかをわかり易く説明する」ということです。在学中、私はこの難題について更に探究し、学びたいという思いから、本学大学院に進学しました。学部で過ごした 4 年という月日を含め、十数年の期間を月出の学び舎で過ごしました。この間、恩師である渡邊榮文先生の御指導のもと、行政学を基盤におきつつ様々な学問に触れる機会を得ることができました。多様なご経験や知識をお持ちの先生方による授業を受講しながら、「多角的にアプローチし、客観的な視点で物事を考察する」という姿勢を身につけることができたことは、私の人生にとって大きな財産となっております。また、これ以上の財産が本学で出会うことができた友人たちの存在です。月出キャンパスは、現在は行政機関や民間企業、教育機関、NPO 法人などの多様な分野で活躍する友人達との出会いの場でもありました。学部を卒業して 15 年ほどが経ちましたが、結婚や出産、昇進等の人生の節目ごとにみんなで集合しては昔を懐かしんだり、これからの将来について語り合うことができる友人たちです。

現在は、縁あって母校である熊本県立大学で教員として勤務しております。一教員であると同時に、学生たちの同窓生という意識を大切にしながら、日々の指導や助言を行っております。今後も、彼らが本学での学びや経験を通して、地域社会に貢献できる人材になるための手助け、また彼らの人生にとって大切な友人たちと出会える場となるような手助けができるように尽力していきたいです。

「地域に貢献し 世界に発信する」教育・研究

卒業生（環境共生 52 回生・H16 卒） 小森田 智大
環境共生学部講師

創立 70 周年、心よりお祝い申し上げます。

私は 2000 年に本学の環境共生学部にて 2 期生として入学いたしました。それから環境共生学
研究科にも在籍していたので、学生として 6 年間に渡り御世話になりました。入学した当時の
環境共生学部は 3 学科ではなく、3 つの専攻で構成されており、私は、生態・環境資源学専攻
に所属していました。学部設立 2 年目ということもあり、最新鋭の機器と真新しい建物、そし
て何よりも先生方との距離感が大変近く、授業や実習はもとより、様々な場面で濃密な時間を
過ごさせて頂いたことを鮮明に記憶しております。私はこのように充実した教育・研究環境の
中で様々な経験を積んだ結果として、2010 年より本学の環境共生学部で教育・研究業務に従事
させて頂いております。

私は、身近な海である有明海や八代海を題材に研究をしており、地域における課題解決をベー
スに、大学の研究者だからこそできる、利害関係に縛られない科学的に平等な物の見方を地域
社会に提供することを大切にしています。得られた結果については、地域社会のみにおける共
有で満足せず、積極的に海外に向けて発信し、国際的な科学コミュニティの発展に寄与するこ
とも心掛けています。気がつけば、熊本県立大学に育てて頂いた私の研究姿勢は、まさに本学
の理念である「地域に生き、世界に伸びる」を倣っていました。これもまた、知らず知らずの
うちに、多くの先生方に導いて頂いた結果であると感謝しております。これまでにご指導頂い
た諸先生方を見習い、後進の学生に対して、論理的思考の形成や専門的技術の修得のみならず、
豊かな人間性の涵養を目指した教育を展開していきます。

最後になりますが、これからも、熊本県立大学の一員として己を磨き、本学の発展に貢献す
るよう努める所存であります。

熊本県立大学創立70周年からその先に向けて

卒業生（総合管理60回生・H24卒） 内田 圭亮

熊本県立大学創立70周年に際し衷心よりお祝い申し上げます。平成20年度から4年間の学生生活は鮮やかな思い出として未だ心に残っているところですが、卒後間もない平成25年度から同窓会「紫苑会」の運営委員を仰せつかり、再び母校との関わりを持ってからは在学中よりも更に県立大への思いが深まったように思います。

紫苑会での熊本県立女子専門学校（以下、女専も「女子大」と括らせて頂くことご容赦ください）まで遡る先輩方との交流は在学中に無かったことで、同窓生でありながら、全く知らない学生時代のお話で毎回興味深く伺っているところです（「ダンパ」のお話とか）。これまでのイメージとして「紫苑会って女子大の同窓会でしょ？」というものがあつたかと思いますが、（それこそ女子大卒も含めた）先輩方のご尽力で「女子大と県立大の同窓会なんだね」というイメージ転換が図られている様です。その証左として、最近では県立大卒の運営委員も増加傾向にあり、更に現役の学生さんと関わる機会も増えてきています。卒業生と学生の交流の場を設けていることや、紫苑会として学生支援の充実を図っていることもあり、日頃から紫苑会事務局に学生さんが出入りしてお茶を飲んでいる姿も見かけるようになりました。

今後、80周年、100周年と永く熊本県立大学の歴史をより太い糸で紡がれていくためには、その時々にご在籍の教職員の皆様、学生の皆さんのお力だけでなく先生方も含めたOGOの応援が肝要ではないでしょうか。卒後も大学と関わり、応援団になるんだという意識を持って卒業して頂く、卒後これまで大学と縁遠かった皆様にも女子大の県立大の卒業生であるという思いで大学や同窓生の縁を持って頂くといったことが県立大の更なる発展に寄与するものだと考えています。こうした同窓会組織作りで県立大学のご恩に報いていきたいとこの機会に改めて思うところです。結びになりますが、熊本県立大学の末永く、益々のご発展を祈念申し上げます。

創立 70 周年に寄せて

卒業生（英文 64 回生・H28 卒） 野坂 梨奈

熊本県立大学の創立 70 周年を心よりお慶び申し上げます。

卒業してからまだわずか 2 年も経っておらず、大学時代の思い出というのは鮮明に残っております。その中でも特に熊本県立大学で学ぶことができてよかったと感じるのは、周囲に志高く、日々笑顔で、全力で勉強やサークル活動などに心を注ぎ込む同志がいたことだと、胸を張って言うことができます。それぞれが学科の自分の専門分野に嬉々として取り組み、その友人たちを見てさらに頑張ろうというよい循環がありました。

出身学科の英語英米文学科のことに関して真っ先に思い出すのは、LLC 教室で春夏秋冬、講義のある日もそうでない日も自然と学生が集まり、課題や専門分野を、キラキラした笑顔で語り合う風景。そして課題が出た日のうちに、沢山の同級生が資料図書を借りに図書館に集結する風景。思い返すと懐かしさと楽しい記憶で、今すぐ友人たちに会いたくなるほどです。学問や人生において全身全霊でぶつかる仲間に出逢える大学であることが、なにより誇り高いことだと感じます。

また、学問を磨き合う仲間がいたことのほかにも、自分の人生を良い方向に導いてくれた友や、先輩、そして先生方がいらっしゃるといことが、貴重で、嬉しいことだと感謝しております。

卒業し、大学時代の専門分野を活かした職についた友人も、自分のように全く違う道を歩む者もいますが、熊本県立大学での毎日の積み重なりが、自分や誰かの過去と未来と現在とを一つの線にしてくれたのだと思います。

熊本県立大学での出逢いの全てが宝です。偉大な社会人である方達に【熊本県立大学出身】という繋がりで出逢えたこと、後輩であっても心から尊敬できるひとに出逢えたこと、自分の中での理想の教師と言えるような恩師に出逢い学べたこと。卒業してみても一層重みを増してありがたいことだと感じます。

社会人歴も浅く、激励の言葉を添えるにはまだまだ若輩者ですが、熊本県立大学出身だからこそ大切にしている言葉を最後に添えさせていただきます。

Never miss an opportunity to be fabulous!(光輝くチャンスを逃すな)

熊本県立大学に関わる人皆で、ますます地域を支え、世界で輝ける未来を創っていければと願っております。

この度は、創立 70 周年誠におめでとうございます。